

福井県介護支援専門員協会会報

# 福井ケアマネジャー

38号

発行/ 福井県介護支援専門員協会



《令和7年5月31日 サンドーム福井》

## 巻頭言 ②

各支部より

西村 洋平（若狭支部）③

西村 栄子（丹南支部）④

吉澤るみ子（坂井支部）⑥

村上 勝一（二州支部）⑦

細川 智洋（若狭支部）③

紘谷 洋幸（福井支部）⑤

中川勇紀子（奥越支部）⑥

研修委員会より ⑧



## 巻 頭 言

福井県介護支援専門員協会

会長 貴志 英生

介護支援専門員協会は、いわゆる3層構造になっていることは周知のことと思います。日本協会と、都道府県協会、それに支部の3層構造（支部会員が必ずしも県協会や日本協会会員ではないようですが…）。長らく支部のなかった大所帯の福井市が再度立ち上げとなり、福井県協会としては大変嬉しく思っております。個人的に行政の医療介護福祉関係の会議に出席することがあります。福井市の会議に出席すると、各種団体からの代表者が出席していることに気が付きます。ところが、介護関連の重要なポジションにいるケアマネの、代表としての出席者はありませんでした。ケアマネが個人的（正確には様々な分科会に出席しているケアマネ）に出席しているに過ぎませんでした。福井支部の再結成は職能団体として代表者を送れる機会となりました。様々な会議での議事や各種情報を会員に伝達することは大変重要な仕事と考えており、今後は福井支部の会員に広く情報が行き渡ることを期待しています。また、行政や他団体に意見を言える場は限られており、職能団体としての立場を表明することは極めて重要と考えています。

ケアマネを取り巻く情勢は日々変わっています。問題となる事象にはトレンドがあり、その趨勢に影響され各種研修や議題が決まっていく気がします。ACP、意思決定支援、BCP、ハラスメント…など、大きな災害や事件、政策などによって変わっている。そういったトレンドに乗り遅れず、理解し習得することを疎かにすることは出来ないと思います。ただし、トレンドに応じた課題を紐解く根底には、クライアントである人間が存在することを忘れてはならない。様々な課題を解決するプロセスを理解するだけでは、自分もクライアントも含めて“幸

せ”を感じるとは限らないのではないのでしょうか？課題解決のプロセスを実行するゴールは、自分も含めた皆の“幸せ”であるはずで、そのゴールを忘れてプロセスを議論することは本末転倒です。自分の幸福感と他人のそれが違うのは当たり前で、それを理解してトレンド課題に対応していくのは実は大変な作業と考えています。自分がどんな経験をして、どんな感情を抱いたかが大きく影響して自分の価値観が形成されます。自分の価値観を知って、初めて他人の価値観と比較ができます。自分を知ることは幸せになる第一歩であり、それがクライアントにとって重要な課題を紐解くことにつながると思います。





## 一般社団法人 日本介護支援専門員協会

北陸ブロック理事 西村 洋平 (若狭支部)

日頃より協会活動にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

このたび、前期に続き今期も日本介護支援専門員協会（以下、日本協会）北陸ブロック理事を務めさせていただくことになりました。改めまして、身の引き締まる思いですが、引き続き、現場で働くケアマネジャーの声を大切に、日本協会へしっかり届けていきたいと考えています。

さて、日本協会の広報紙「JCMAだより」はこれまで郵送で届いておりましたが、令和7年1月発行の第51号より電子版（PDF）となりました。日本協会ホームページの会員専用ページに掲載され、メールマガジンで発行のお知らせがあります。「JCMAだより」をご覧ください。ため、メールマガジンへのご登録をお願いします。なお、会員情報のメールアドレスは、事業所代表等のものではなく、個人のものをご登録いただければと思います。

あわせまして、日本協会の令和7年度【重点課題】として、

1. 会員増強と組織強化
2. 介護保険法改正・介護報酬改定対策
3. 調査研究推進
4. 介護支援専門員の資質向上
5. 介護支援専門員の将来像

が掲げられています。これらの課題を福井県内また北陸ブロック、全国のケアマネジャーと共有し、地域の声を反映させていくことが重要と考えております。

今年度は、10月19日に北陸ブロック大会、11月1日・2日には全国大会（20周年記念大会）が予定されています。他のケアマネジャーと直接つながり、実践を振り返り、未来を語り合える大切な機会です。ぜひ多くの方に参加いただければと思います。

今期もどうぞよろしくお願いいたします。

## 一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

副会長 細川 智洋 (若狭支部)

若狭支部の細川です。今期も副会長・渉外を拝命しました。任期の2年間会員の皆様が安心して業務に関われるお手伝いをさせていただきたいと思っております。

若狭支部では役員改選が行われ、下野新会長のもと新体制となりました。若狭支部では年2回の研修会、交流会（という名の飲み会）を目標に動いています。会長・副会長・会計を含む役員会で研修会の原案を企画し、運営委員会で内容を検討し実施しています。8月8日には若狭町と連携を取り、とやまケアマネ羅針盤（コンパス）の会 黒田正一氏を招いてシャドウワークについての研修会を行いました。小規模であることを活かし、現場の声に迅速に対応できる研修を企画しています。

2026年5月23日・24日にはケアマネジメ

ント学会の全国大会が福井で行われます。ケアマネジメント学会の大会ではありますが、福井開催ということで県ケアマネも協力して動いていきます。

10月19日には北陸ブロック研修会が富山県民会館にてハイブリッドで開催されます。

11月1日・2日は日本協会の全国大会が東京国際フォーラムで行われます。第20回の記念大会です。

12月13日は福井県協会の学術大会です。吉澤理事のもと着々と大会に向け動いているところです。今回若狭支部は査読担当、皆さんがどのような事例を出されるのか非常に楽しみにしています。

副会長をしていますが、私勉強は苦手です。研修の参加も熱心ではありません。でも自身の

不勉強で利用者さんや介護者さん、仲間に不利益が出ることは困るのでどうしようかなあと考え、①できる仲間を増やす（人に頼る、これは楽）②前向きに関わるようにする（頼るばかりだとそのうち嫌がられる気がするので、自分の得意な分野を中心に勉強もしていく）ことにしました。ネットワークを作るには研修や県ケアマネの事業に参加することは有効です。事例発表や研究を苦手を感じる方は多いと思います。が、自身が当たり前と思っていた動きが実はすごく良い方法な場合もあります。自分の強みや弱みを把握するうえでも、研修会などに積極的に参加し自己覚知していくのはいいことです。

来年北陸ブロック大会は福井が担当です。細川が実行委員させてもらうことになるかと思ひ

ます。今気になっていること、勉強したいことなどありましたらお気軽にご提案ください。仕事は大変です、面倒です。どうせ面倒なので、楽しんで面白がってケアマネ業務していきましょう。一人で悩まず愚痴って笑える仲間を作りましょう。仲間になってください。



#### 一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

副会長 西村 栄子 (丹南支部)

丹南支部では、令和6年度最後の研修会を令和7年4月16日（水）に開催いたしました。

今回のテーマは、「共生社会の実現を推進するための認知症基本を学ぶ ～新しい認知症観とは～」。

講師には、認知症ケアの第一人者である永田久美子氏をお迎えし、認知症に対する新しい理解と支援のあり方について、介護支援専門員としての視点を深める機会となりました。

参加者は53名にのぼり、講演後には「認知症の人を“支える”だけでなく、“ともに生きる”という視点が大切だと感じた」「現場での対応にすぐ活かせる内容だった」といった声が寄せられ、実践的かつ意義深い研修となりました。

令和7年度の丹南支部総会は、\*\*令和7年8月28日（水）\*\*に開催予定です。

総会に併せて、特別講演として

\*\*「防ごう！ まだまだ危険 熱中症」\*\*をテーマに、公立丹南病院 脳卒中リハビリ看護認定看護師 居関友也氏を講師にお迎えします。

近年の猛暑の影響により、居宅支援事業所においても熱中症対策が従来以上に困難となっており、介護支援専門員自身の予防意識の向上と、利用者への安全な支援の実践が求められています。

講演では、屋内外での温度管理、水分摂取の促し方、体調変化への気づきなど、現場で役立つ具体的な対応策が紹介される予定です。

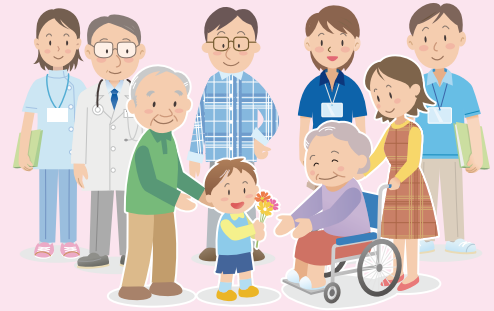
そのような中、丹南支部では令和7年11月14日（木）に学術大会の開催を予定しており、現在、実行委員会を中心に準備を進めています。

大会では、介護支援専門員として日々奮闘する中で感じる不安や疑問に向き合い、「これからの私たちに何ができるのか」を参加者の皆様とともに考える場とすることを目指しています。

大会実行委員の森国氏は、「ケアマネジメントが介護保険の核として続いていくために、私たちがすべきことを参加者の皆さんと一緒に考えていきたい」と語り、

上木氏は、「現状や未来に対して不安や疑問を感じている介護支援専門員にとって、“勇気と希望”が得られる大会にしていきたい」と意気込みを述べています。

丹南支部では、今後も地域の介護支援専門員のニーズに応じた支援活動を継続し、介護支援専門員の専門性と連携力を高める取り組みを推進していきたいと思います



## 一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

## 絢谷 洋幸 (福井支部)

令和7年度、ケアマネふくいでは介護支援専門員の皆様が安心して業務に取り組める環境づくりを目指し、以下の事業に取り組んでまいります。

まず、昨年12月に発足したばかりの支部であるため会員増加へ取り組んでまいります。研修会などの場を活用し、支部の活動や意義について広く啓発を行います。私たちは職能団体としての組織力を高め、現場の声が国政へと届く仕組みづくりを目指しています。また、支部の強みを活かした相談窓口の設置により、介護支援専門員が気軽に相談できる体制を整え、仲間同士が支え合える組織づくりを進めていきます。

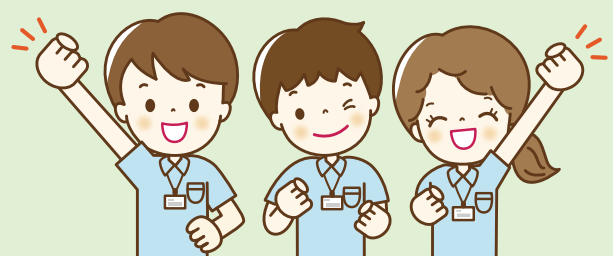
7月12日(土)に総会を開催し、そのあとに4つのテーマ（モチベーション、シャドーワーク、カスタマーハラスメント、ICT・AIの活用）に分かれてグループディスカッションを行いました。ディスカッションでは会員の皆様から貴重な声を聴くことができました。いただいた意見は『現場の声』として現在取りまとめを行っており、9月中を目途に行政へ報告する予定です。

資質向上に関しては、ケアマネジメントに関連する多様な研修を企画・実施し、専門性の向上と実践力の強化を図ります。現場で求められる知識やスキルを深めることで、ご利用者やご家族により質の高い支援が提供できるよう努めてまいります。

また、業務遂行に関するサポート体制の整備にも力を入れます。日々の業務で生じる悩みや課題を気軽に共有できる環境を整えるとともに、寄せられた声を丁寧に拾い上げ、支部としての課題として取り組んでいきます。関係機関・団体との連携も強化し、福井県介護支援専門員協会との連携はもちろん、福井市内の各種関係機関や団体との協力体制を築き、委員の選出・派遣を通じて地域福祉の向上に貢献します。

さらに、災害支援への協力・連携にも積極的に取り組みます。災害時における介護支援専門員の役割は非常に重要です。福井県介護支援専門員協会と連携し、災害時の支援体制の構築と実践的な対応力の強化を図ります。

ケアマネふくいは発足したばかりですが「現場に寄り添う支部」として皆様とともに歩み、支え合いながら、より良い介護支援専門員の未来を築いてまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





## 一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

理事 吉澤 るみ子 (坂井支部)

三国港で獲れる越前ガニを始め、サスペンスドラマに欠かせない東尋坊、「ちはやふる」と新幹線で一段と有名になった芦原温泉・・・と、観光でも賑わう坂井市とあわら市で構成された坂井支部です。

坂井支部ではケアマネSAKAIのメンバーが中心となり、今年度も保険者の坂井地区広域連合と協力して研修を開催していく予定です。毎月1回、夕方から委員会を開催して内容を決めたり、課題を話し合ったり、情報交換などを行っています。

今年度から越前ガニをイメージした《CM SAKAI》の赤いキャラクターも仲間入りしました。爪がチャームポイントです。会の活動を中心にインスタなどで発信しておちゃめに活躍しています。皆さんも是非、インスタを見て「いいね」して下さいね。それと、まだ名前が付いていません。皆さんに愛される名前を募集しております。併せてよろしくお願いします。

今年度の取り組みとしては、まず5月17日に総会を開催しました。大勢のケアマネさんたちが集まってくださいました。その後の研修会には、福井赤十字病院居宅介護支援事業所の山崎奈満氏を講師にお招きして、ケアマネに必要な相談援助技術について学びました。グループ

ワークではリフレーミング技法を用いて話し合い、新たな感銘と思考を各々が感じ取りました。

また、8月22日にはSAKAI式事例検討会、9月11日はよろず相談会を開催しました。

新人ケアマネ、一人ケアマネ、ベテランケアマネ、それぞれ悩みや考えを皆で共有していろいろな視点から意見を出し合い、モチベーションアップにつなげました。

後期も集合研修を予定しています。坂井支部のケアマネジャーの資質向上につなげられるようにアンケートを実施しながら企画しております。

12月の学術大会では、昨年行ったアンケートをもとに事例研究を行おうかと相談中です。また、今年度はその「学術大会」の役割を担うこととなりました。

今までは執行部にお任せしていたことがドーンとのしかかり戸惑うことが多いですが、支部のメンバーで成功に向けて進めております。最新の知識や情報を得て活発な意見交換ができるようにコーディネートできるとよいと思っておりますが、とにかく有意義な大会になりますよう、皆さまご協力をお願いします。

## 一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

理事 中川 勇紀子 (奥越支部)

奥越支部ではR7.5.17に総会を行いました。「介護支援専門員が学ぶべき口腔ケア」という演題で伊藤歯科医院の伊藤恵理子先生に講演を頂き、お口の中の細菌によって引き起こされる虫歯や歯周菌が全身の健康に関わっているという事を学びました。私としては利用者様の口腔内を確認することに苦手意識があり、口頭での聞き取りのみにしておりました。しかし口腔内の状態やお口の予防が自力でどこまでできているのかなど細かいアセスメントすることがと

ても重要なことだと再確認しました。

また、R7.9.27には第2回研修会として、「ケアマネに必要な相談技術援助」と題して福井赤十字病院居宅介護支援事業所の山崎奈満さんに講演していただく予定です。相談援助技術とは何か！専門職としての有り方！自分を振り返る！など今一度、再確認し、磨きをかけたいと思っております。

奥越ならではの過疎化問題、高齢者世帯、豪雪による問題、複雑な家族関係等、多様化する

問題に柔軟な対応ができるように、また、少しでも地域の人達が穏やかに安心して暮らしているように日々奮闘しています。



## 一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

理事 村上 勝一 (二州支部)

令和7年5月31日に令和7年度福井県介護支援専門員協会総会がサンドーム福井にて開催され、多くのケアマネジャーの方々が参加されました。

また、二州支部では令和7年5月23日に通常総会が開催され、総会後は「対人援助・人材育成に役立つコミュニケーション技法」と題して研修会も開催されました。

今後も9月17日には「ケアマネジャーとして、経済的に困窮している世帯に関わることは」と題して研修会を開催する予定で、テーマは未定ですが来年2月にも研修会を開催する予定です。

私たちケアマネジャーは、管理者として働く方も居れば、事業所の一員として働く方も居ます。

そして、それまで携わった職種での業務経験を基に数多くの利用者と関わりを持ち、色々な事に思いを馳せたり悩んだりする事で練れていき、より良い仕事ができるようになると思いますが、残念な事に様々な要因で退職される方、長く休職しそのまま復職できない方、復職するもすぐに退職してしまう方も居ます。

私たちが関わっている方々は多種多様で、様々な考え方を持っている方々、複雑な状況・環境に置かれている方々など、一人として同じ方は存在せず、数多くの「唯一の人」に関わっています。

そして、その関りの中で喜びがあってこの仕

事を続けたいと思うケアマネジャーも居れば、悩む事があってこの仕事から離れるケアマネジャーも居ると思います。

12月の学術大会では、この先の超高齢化・多様化社会に対応しつつ仕事を続けていくためには、ケアマネジャーの在り方、そしてそれを取り巻く環境はどうあるべきかを考える機会にしたいと考えております。

来ていただく皆さんにとって、参加する価値のある内容にしようと担当者全員で取り組んでいます。

お忙しい中でも当会の研修会や大会の開催に協力していただける方がいらっしゃいましたら、是非ともお声かけいただければ幸いです。

また、当会に対してのご意見ご要望などについても随時受け付けておりますので、事務局までご連絡いただければと思います。

気候が変わり涼しくなってきましたが、調子を崩さないよう気を付けて過ごしていきましょう。



## 研修委員会より



令和7年度主任介護支援専門員更新研修は、58名の受講生が、14日間の研修（令和7年9月9日～令和8年1月29日）に望みます。今回で、3回目の更新者もあり、皆さん切磋琢磨して無事に修了されることを願います。

令和7年度主任介護支援専門員研修は、9月1日から申し込みを開始します。詳しくは福井県介護支援専門員協会のホームページ（<http://www.fkeamane.com>）を参照ください。

月 日	テ ー マ	会 場	受講者数
7月11日	利用者家族からのハラスメントについての法的な視点	サンドーム福井	62名
11月17日	制度の併用	WEB	
12月15日	精神科疾患の理解	WEB	
2月19日	ファシリテーター講座	WEB	
3月11日	ファシリテーター講座	福井県自治会館	

研修の要望等ございましたら、福井県介護支援専門員協会へご連絡ください。

一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

理事 浅井 智恵美（福井支部）

## 福井ケアマネ LINE公式アカウント 開設しました。

皆さんとの情報共有の場にしていきたいと思います。  
研修案内等も載せていきます。

友達追加はこちらからお願いします。

<https://lin.ee/QQ4weCB>



一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

おともだち



募集中

一般社団法人

**福井県介護支援専門員協会**

〒918-8004 福井県福井市木田3-8-16

【事務局】

〒918-8231 福井県問屋町1-10 ユニックスビル112号

TEL 0776-58-3277/FAX 0776-28-6877

■ 福井県介護支援専門員協会のホームページ <http://www.fkeamane.com>

各種研修会や県内各支部の日程、過去の会報誌等を掲載してあります